

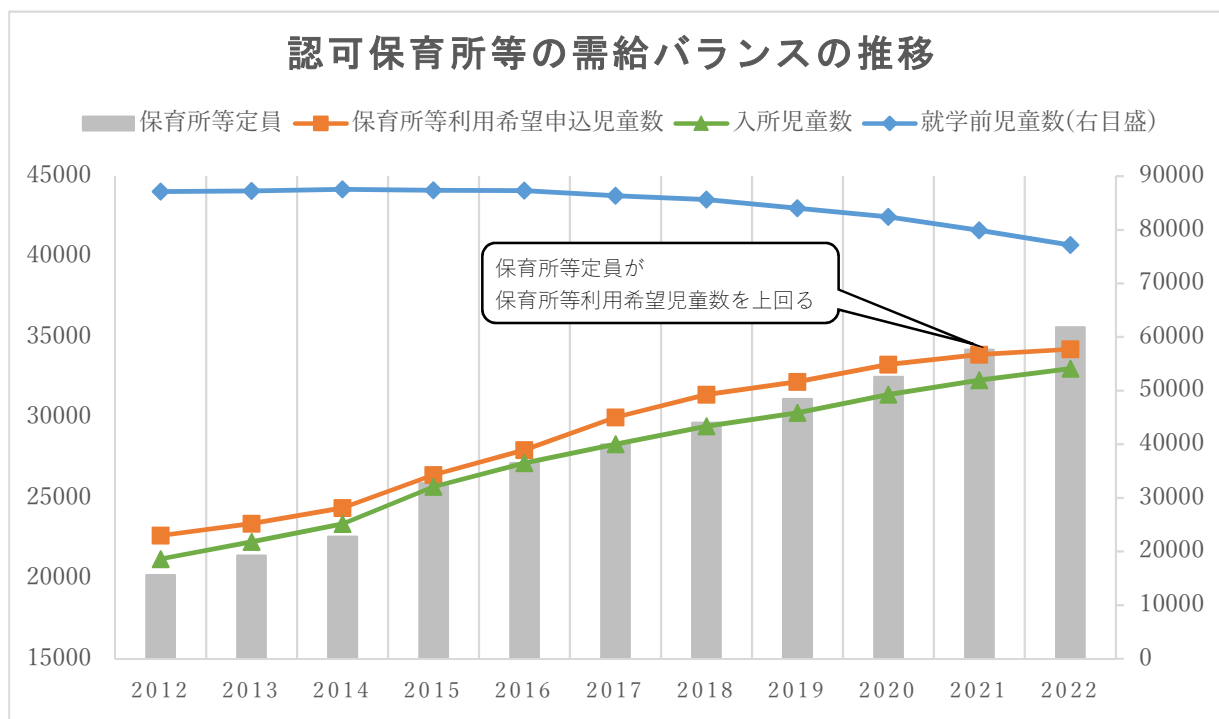
札幌市の認可保育所等の状況について

【札幌市の保育の現状】

- 札幌市では、少子化により就学前児童数が年々減少している一方、女性の就業率の上昇などにより保育所等利用希望児童数は増加しており、保育ニーズの増大が続いている状況。
- 「札幌市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、施設整備等による保育の供給量の確保を行ってきた結果、2021年度に「保育所等定員」が「保育所等利用希望児童数」を上回った。

《過去5年間の状況（人）》

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
就学前児童数	85,619	84,022	82,396	79,907	77,167
保育所等利用希望児童数	31,428	32,232	33,306	33,908	34,244
入所児童数	29,465	30,285	31,437	32,330	33,043
保育所等定員	29,674	31,147	32,518	34,218	35,610



【待機児童数の状況（2022年度）】

- 国定義の待機児童数は5年連続で0人を達成したが、国定義以外を含む待機児童数（いわゆる潜在待機児童数）は1,201人（幼稚園の一時預かり等を除くと648人）。

《過去5年間の状況（人）》

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
国定義	0	0	0	0	0
国定義以外を含む	1,963	1,947	1,869	1,578	1,201
幼稚園の一時預かり等除く	1,531	1,389	1,244	893	648